



広報

No. 305

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成9年5月末現在)

世帯数	10,046世帯		
人 口	30,625人		
男	15,573人		
女	15,052人		
5月の人口移動			
出生	36件	死亡	12件
転入	112件	転出	101件
婚姻	9件	離婚	7件

編集・発行/ 西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/ 沖縄コロニー印刷



として保存すると便利です

今月の主な内容

- 町平和事業推進委員会 (2頁)
- 窓口相談員、町民アイデア箱を設置 (3頁)
- 香水“さわふじ”はいかが? (4頁)
- 町史だより-No.23- (6頁)
～西原の方言～人間のなき声って?～
- お知らせで一びる (7～10頁)

上原配水池に絵柄のデザイン

このたび、上原地内にある上原配水池の側壁に、人や小動物が集まって仲良く歌を歌っている愛らしい絵柄がデザインされました。

タイトルは、ずばり「コーラス」。どこからともなく聞こえてくる歌声にひかれて、人や小動物たちがどこからともなく集まって、気がつけばいつのまにかコーラスが始まっていました。花や木々のハミングもみんなを呼んでいるようです。

工事名: 上原配水池側壁への絵柄書込 請負金額: 2,990,000円
工期: 平成9年3月1日～3月20日 請負人: 工匠(代表者・金城清)

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

戦争の実相を語り継ぐために

町平和事業推進委員会

町平和事業推進委員会(委

員長・川平博一琉球大学教授)

は、五月二十七日午後、町役

場二階会議室で同委員会を開

催し、「六・二三平和コンサ

ト&映画上映会」や「第十回

親子で学ぶ戦争追体験平和バ

スツアー」、中学生を被爆地・

長崎に派遣する「ジュニア・

ピース・メッセンジャー」、

「平和特別企画展」の開催を

承認しました。

本町では、平成七年に「平



△'97平和・夏のアクションプランの内容等について話しあわれた町平和事業推進委員会。

和・夏のアクションプラン」

を設定し、六月から八月まで

の三カ月間を「平和創造強化

期間」として位置づけ、町民

と一体となつて平和について

考え、行動しようと呼びかけ

ています。

委員会では、年々進む戦争

体験の風化を憂い、目や耳に

直接訴える具体的な手法を用

いて戦争の愚かさや悲惨さを

語り継いでいこうと、平和事

業の目的を確認しました。ま

た、来年度は避難壕など町内

に残る戦争遺跡の保存・活用

についての具体的な検討や戦

争体験者であるお年寄りら語

り部の養成、昭和六十三年度

以降続いているジュニア・

ス・メッセンジャーの組織化

を図っていくことを申し合わ

せました。

さらに、委員から遺跡の保

存は急務だとして、「実態把

握や遺跡マップ作成などを早

めに行うべきだ」との意見や

「母親も参加できる事業を増

やしてほしい」との要望があ

りました。

なお、'97平和・夏のアクシ

ョンプランは次の通り。

▽六・二三平和コンサート&

映画上映会は、六月二十三

日の『慰霊の日』に町中央

公民館で。「さとうきびの

花」など反戦平和歌手とし

て有名な海勢頭豊さんらによるコンサートと、それを挟む形で映画「GAMA月桃の花」を上映(入場料は無料)。

た一フィートフィルムも上映。
▽第十回親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアーは、七月二十四日に行う。親子での申し込みとし、募集予定人員は九十人、募集期間は七月九日から十八日まで。

▽平和特別企画展は、県平和推進課と提携して、七月十九日から二十四日まで、町中央公民館で写真パネルを中心とした展示をおこない、沖縄戦の実相や米軍基地の返還前と後のまちの様子の違いなどを紹介するほか、二十日には平和講演会を開催、沖縄戦のようを収め

▽ジュニア・ピース・メッセンジャーは、町内中学校の代表生徒らが、八月七日から十日まで平和大使として被爆地・長崎に派遣され、被爆の実相を学ぶ。

'97 平和・夏のアクションプラン

事業名	日 時	場 所	受付・申込期間	申込先
六・二三平和コンサート&映画「GAMA月桃の花」上映会	六月二十三日	町中央公民館(大ホール)	当 日	当日会場にて
◎写真パネルの展示	七月十九日 ～二十四日	町中央公民館ロビー	当 日	当日会場にて
◎平和講演会	七月二十日 14:00～15:30	町中央公民館(大ホール)	当 日	当日会場にて
◎一フィートフィルム上映会	七月十九日 ～二十四日	町中央公民館ロビー	当 日	当日会場にて
第十回親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー	七月二十四日 8:30～16:00	町中央公民館集合→中南部	七月九日～十八日	文化広報課 ☎九四六一 九八四六
ジュニア・ピース・メッセンジャー	八月七日 ～八月十日	長崎市	町内各中学校それぞれ通知	町内各中学校からの推薦

行政への相談、要望はこちらへ

窓口相談員、町民アイデア箱を設置

町(翁長正貞町長)では、町役場と町民のパイプ役となる「窓口相談員」と、行政に対する町民からの提言・意見・要望等を気安く投書してもらうための「町民アイデア箱」を、六月三日に設置しました。

同日、翁長町長から窓口相談員として委嘱された城間恒子さん(字与那城)は「窓口案内や相談内容をよく聞いて、関係機関との橋渡しをしていきたい」と抱負を述べました。

窓口相談員 ます。相談員の城間さんは、毎週火曜日、町役場一階の文化広報課に開設され

ます。相談員の城間さんは、県の消費生活センターで三年間にわたり消費生活相談員として勤めていました。そこで培った経験を生かして、悪徳

商法に関する相談や人権、福祉、教育など多岐にわたる要望・苦情を処理し、内容によって担当課や専門機関の紹介をします。ほかにも、「町役場

に来てみたものの、〇〇課はどこなんだろう?」といったときの庁舎案内や「〇〇〇の手続きがしたいが、どうい

たものを用意していけばいいんだろう?」「行政へ要望があるのだが、どの課が窓口

なんだろう?」といったような手続・窓口案内もしています。町民の皆様の気軽なご利

用をお待ちしています。

また、アイデア箱は、町役場玄関、町中央公民館、町民体育館の三カ所に設置されています。第一回目の投書の

回収では、証明手数料の支払



△行政と町民の橋渡しとなるよう、このたび「窓口相談員」(相談員: 城間恒子)と「町民アイデア箱」が設置された。

い方法についての提言など十五通の投書がありました。今後、まちづくりのために、アイデア箱の活用をお願いします。

優良農家六人を表彰

第八回西原町農家の集い

町(翁長正貞町長)とサンライズ農業協同組合(喜納宏組合長)の主催による「第八回農家の集い」が、五月三十日午後、町中央公民館で開催され、町内農家や農業委員ら農業関係者約三百人が参加しました。

これは、町内の農業関係者の激励と相互交流を図り、また優良農家を表彰することで農業への励みにしていただくという開催されているもの。農産物の輸入自由化に伴う国内外農産物との競合や農業労働力の高齢化、後継者不足、基幹作物であるサトウキビ生産量の減少等、農業を取り巻く厳しい状況の中、優良農家として努力している農家の方々が表彰されました。

また、主催者を代表して翁長町長があいさつし、来賓の大城喜信県農林水産部長(代

表)と富春治町議会議長がそれぞれ祝辞を述べ、参加した農家の方々を激励しました。

引き続き、町内の琉球舞踊研究所や民謡研究所による余興があり、参加した農業関係者らは、日ごろいそがしい農業の合間をぬって、しばしの休みを楽しんでいました。

なお、表彰された優良農家の方々は次の通り(敬称略)。

【沖縄県農林水産部長賞】与那嶺安正(字幸地七百六十二番地) 【さとうきび農家】

《春植》大嶺正善(字小橋川七十二番地) 《株出》小波津吉則(字小波津六十九番地)

《夏植》城間清光(字我謝四百八十二番地) 【花卉農家】

添石美枝(字津花波二十五番地) 【野菜農家】長嶺由光

(字津花波十九番地) 【畜産農家】与那嶺安正(字幸地七百六十二番地)



△このたび開発された香水「さわふじ」(内間御殿前で)。

香水「さわふじ」はいかがが？ 町商工会が町おこし商品として香水を開発

町商工会(呉屋定子会長)では、町おこし商品「サワフジ」ブランドの一つとして、このたび香水「さわふじ」を開発しました。

これは、サワフジを使った町おこしに熱意を燃やす呉屋会長が、昨年二月に那覇市にある香水専門店「かおりや本店」(田中久美店長)に話しを持ちかけて実現したもの。サワフジの花は七月中旬から九月上旬ぐらいまでしか咲かないため、夏まで待つて、花

が咲く夜中に、田中さんらと花を採取して東京の工場に送り、今年の三月末に、サワフジの匂いに近い香水を完成しました。

田中店長によると、香りは「甘く妖艶で瑞々しい。ムスク(麝香のこと。ジャコウジカという鹿からとれる香料)も入っており、エキゾチック。夜にそっと咲き、雪のように散る花は実に神秘的で、パッケージを工夫すれば売れる可能性は高く、ハワイなどでは、ハイビスカスの香水が開発されているといいます。

また、普通シャネルなどブランド名が売れ行きを左右する香水ですが、この香水「さわふじ」は、今年四月に那覇市で開催された世界帆船フェスティバルの会場で、一本千円で試験販売したところ、二百五十本も売れるなど、商品化に向けて「サワフジの名だけで売れるのは驚異的」(田

中店長)といわれるほど手応えがあるようです。

金秀グループが創業五十周年記念で、 本町に四百三十万円相当を寄付

商工会では、毎年七月から八月にかけて、町内の内間御殿に咲くサワフジをシンボルにした町おこしを展開。昨年二月には、サワフジの名を冠した古酒ケーキと泡盛が町内業者によつて商品化されています。このたびの香水の完成を受け、定期総代会でサンプルを配ってアンケート調査を実施するなど「商品化に向け具体的に取り組んでいく方針」。今後は、ハンカチやふろしきなどの商品化を予定しています。

五月二十五日に創業五十周年を迎えた金秀グループ(呉屋秀信会長)は、五月二十六日午後、那覇市内のホテルで県内外の政財界関係者を招いて、感謝の夕べを開催しました。

のは十九歳のときで、五十周年を迎えられたのは県民の皆様のおかげです。社訓の『誠実、努力、奉仕』をもとにグループの社長や社員らがさらに汗を流し、社会へも奉仕していきたい」と述べました。

また、祝賀会に先立ち、創業五十周年を記念して、琉球大学など県内五大学と県人材育成会、県身体障害者福祉協会ら十一の団体に総額二千四百三十万円(記念植樹費用含む)を寄付しました。金秀グループは、毎年、グループ発祥の地で呉屋会長の出身地でもある西原町の人材育成基金をはじめ、さまざまな団体に

【二百万円】▽琉球大学
【百万円】▽沖縄国際大学
▽沖縄大学▽沖縄キリスト教短期大学▽名城大学▽県人材育成会▽那覇市▽首里城復元期成会▽県身体障害者福祉協会

【四百三十万円】▽西原町(人材育成基金百万円、社会福祉基金三十万円、記念植樹三百万円相当)
【一千万円】▽金秀児童育成財団

祝賀会であいさつした呉屋会長は「鉄工所を開いた



「親子がいつしよになって楽しんで、ゆかいなコンサート」
(こどもふれあいまつり'97から)

大いに賑わった“こどもふれあいまつり'97”

町(翁長正貞町長)と町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)では、5月24日午後、町中央公民館と町社会福祉センターを主会場に、こどもふれあいまつり'97を開催しました。

これは、今年が児童福祉法が制定されて50周年の節目にあたることから、親と子のふれあいの場を設け、環境づくりをするとともに地域における児童福祉の増進を図ろうと開かれたもの。

町中央公民館ホールでは“ゆかいなコンサート”が行われ、糸満市に本拠地を置き活動する「森の音楽館」のメンバーによるテレビアニメの主題歌や沖縄のわらべうたメドレー、童謡、ピアノやヴァイオリンの独奏、独唱など多彩なプログラムが披露されました。会場には300人余の親子が詰めかけ、一緒になって歌を歌ったり手拍子をしたりと大いに盛り上がりました。

コンサート後には、スポーツチャンバラやダーツゲーム、もちつき、工作コーナーなどの各コーナーに分かれ、それぞれ思い思いに親子で楽しむ姿が見られました。

また、与那原町と本町の知的障害児たちで活動している“ヒヤミカチ太鼓”が、見事なバチさばきを披露しました。

「町小中学校特殊教育合同レクリエーション大会」を通じて交流を深め、開かれたレクリエーション大会。



町小中学校特殊教育合同レクリエーション

町小中学校特殊教育研究会(会長・伊禮清勝西原東中学校校長)は、町立小中学校の知的障害児童15人を対象とした合同レクリエーション大会を、5月16日午前、町民体育館で開催しました。

これは、レクリエーションスポーツを通して各学校の知的障害児童どうしの交流をとり行われたもので、児童や学級担任、教育関係者ら約30人が参加しました。

大会に先立ち行われた開会式では、各学校ごとに児童が自己紹介をしました。また、島田賢松教育長、伊禮会長らがあいさつしました。

準備運動で体をほぐした後は、さっそく円形ドッジボールなどのボールを使ったゲームやなわとびなど7種類のレクリエーションを、全員が参加してなかよく楽しみました。



「十五社で構成する町給水工事指定店のみなさんが、標語などが書かれた横断幕やのぼりをたて町内をパレードし、節水を訴えた。」

第39回水道週間で節水パレード

「限りあるいのちの水を大切」をテーマとする第39回水道週間(6月1日から7日まで)にちなみ、町(翁長正貞町長)では、6月2日午後、町水道課や給水工事指定店の車輛合わせて15台で、横断幕等を掲げて町内をくまなくパレードし、節水を訴えました。

パレードの出発式であいさつした翁長町長は「町民への水道に対する理解と関心を高め、水資源の大切さを、パレードでアピールしてください」と述べました。

また、町では水道週間にちなみ、町内小学校4年生を対象に、授業の一環として倉敷ダム(沖縄市)の見学や作文・標語の募集等を行いました。

なお、出発式に先立ち、西原町給水工事指定店(名嘉治夫会長)から町人材育成会(会長・翁長町長)に対して20万円の寄付がありました。

まの話題

△待望の新団旗を囲んで記念撮影する西原バッファローズさん。



西原バッファローズに新団旗

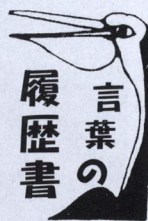
西原小学校(玉那覇節子校長)の少年野球チーム、西原バッファローズ(大城幸哉監督、約45人)に4月15日午後、旅行社の沖縄旅行開発(富永直樹代表取締役、那覇市在)から団旗が寄贈されました。

バッファローズは、去年の秋に出場した大会で団旗を紛失しました。今年3月の春休み期間中に、長崎市で開催された全九州少年ソフトボール大会へ県代表として出場したときには、団旗なしで入場行進をしました。その大会への旅行の世話をした沖縄旅行開発の富永さんが、団旗のない地元沖縄のチームをみて寂しく思ったことと同社の新垣毅さんがバッファローズの一期生という縁もあり、このたびの団旗寄贈となりました。

団旗はチームカラーの青を下地に、特別に「ガッツ」の文字入り。富永さんは「スポーツだけでなく、勉強にも励み、心身ともに強いチームになってください」と団旗を贈呈しました。

同小学校校庭で行われた贈呈式には父母も多数参加、玉那覇校長、大城監督がお礼を述べ、父母会の平良隆さん、チームを代表して野辺将志君(6年生)が感謝のあいさつをしました。また、バッファローズから富永さんへ団旗贈呈のお礼として、メンバーの感謝の言葉が書かれた色紙が手渡されました。

式の後には、和やかな雰囲気の中、団旗を囲んで記念撮影をしました。



パートタイム労働

パートタイム労働者の福祉増進を図る目的で、平成五年につくられた「短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律」のこと。パートタイム労働者は近年著しく増加しており、平成八年においては、約一千十五万人（週間就業時間が三十五時間未満）と、雇用者総数の一九・四％を占めています。このうち女性が約六百九十二万人。パートタイマーの七割は女性というわけです。

就業分野を産業別にみると、卸売・小売業、飲食店（三百一十一万人）サービス業（三百八万人）製造業（百九十九万人）の三業種で八割を占めています。

企業規模別では、約四割の人が三十人未満の事業所で働いています。女性パートタイム労働者の一時間当たりの所定内給与は、平成八年で八百七十円。前年に比べると一九％上昇しました。これらパートタイム労働者の能力を有効に発揮する観点から、適正な労働条件の確保、福利厚生の実施などの雇用管理改善等を図る目的で、パートタイム労働法ができています。

町史だより
—No.23—

西原の方言

人間のなき声って？

前回は、にわたりの鳴き声を中心に動物の鳴き声についてお話しましたが、今度は人間の発するいろいろな擬声語（注①）についてお話ししたいと思います。

人間（方言：ツチュ・ニンジン）といっても、赤ちゃんの泣き声はどうなっているのでしょうか？

「ンガーンガ（嘉手苺・幸地・安室）」「ンカーン（我謝）」「イヒャー（我謝）」「イヒャー（我謝）」と泣くそうです。「オギャーオギャー」ではないんですね。



また、赤ちゃんのほかに、人の泣き声をあらわすことばには「シクシク（嘉手苺・棚原・我謝）」「ウェーウェー（棚原・幸地）」「ゲウエー（棚原・幸地）」「ゲウエー（安室）」というのがあります。幸地では、泣き虫な人の泣いている様子を「ナチブサーヌ、ウェーウェーシー」などとあらわすようです。これを読んでいるあなた、いわれたことないですか？

笑い声については「アハハハ、イヒヒ」がよく使われているようで、ほかに声を出さずに笑う様子は「クスクス」と表現されます。

以下、調査にまわった幸地・棚原・嘉手苺・我謝・安室で使われている表現をならべてみます。

怒るようす：「ワジワジ」「クワチクワチー」

（幸地・棚原・嘉手苺・我謝）
「カーク（幸地・安室）」
「カーク（幸地・安室）」
「カーク（幸地・安室）」

「イライラ」（ほとんどの集落）。

咳の音：「オホオホ」

「コンコン」（ほとんどの集落）。

いびきの音：「ゴゴゴ（嘉手苺・安室）」「コロコロ（棚原）」「コロコロ（安室）」「ゴールゴール（我謝）」。

ねむるようす：「グーグー（安室・棚原）」「シーシー（我謝）」。

静かにねむっているようす：「マーサギーサ（安室・我謝）」

赤ちゃんのねむっているようす：「マーサギサグー（棚原）」。

ぜんそく（方言：ヒミチ）のようす：「グースグース（幸地）」「グスグス（幸地以外の集落）」。

たん（方言：カサグイ）をはくようす：「カー（嘉

手苺・安室）」「カーク（我謝・棚原・安室）」「カーク（幸地・安室）」。

おしゃべりのようす：「アーバーサーバー（ほとんどの集落）」「ピーリンパラン（嘉手苺）」「ピリンパラン（棚原・安室）」「ユンタクハタク（幸地・棚原）」「ベラー（安室）」。

おしゃべりの表現のなかで、ウチアタイしている人はいませんか？

人間の声や音にこんなにたくさん表現があるなんて驚きです。でも、もつとあるんですよ。それにこれから調査を行う集落もありますから、ほかにもおもしろい表現がでてくるかもしれません。

そのときはすぐにみなさんにお伝えしますので、お楽しみに。

注①：地域・集落で一般的に使われ、単語として発音されている音や声をあらわすことば。ものまねとは違います。

第10回親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー参加者募集

1. 趣旨

風化しつつある戦争体験を子孫に正しく伝承するため、親子で町内、県内の戦災跡地等を訪ね、戦争の悲惨さと無益さ及び平和の尊さについて実地で学習することにより平和に対する町民の意識の高揚を図る。

2. 共催 西原町・西原町教育委員会

3. 日時 平成9年7月24日(金)

午前8時30分 町中央公民館集合
(時間厳守)

午前8時50分 出発式

午前9時 出発

午後4時 町中央公民館着
解散式

4. 募集予定人員 90人(大型バス2台予定)

5. 戦跡等巡回コース予定

(都合により一部変更もあり得る)

町中央公民館→西原の塔→宜野湾市嘉数
高地→嘉手納町屋良(サンパウロの丘)
→読谷村渡具知海岸(米軍上陸の地)→

シムクガマ(波平)→チビチリガマ(波平)→象のオリ(米軍基地)→町中央公民館

6. 募集方法

①申し込み期限 7月9日(水)～7月18日(金)(先着順で定員に達し次第締め切る)

②申し込みは直接、町文化広報課に指定の申込書により申し込むこと。(※申込書は町役場文化広報課にあります。)

③申し込みは原則として親子で申し込むこと。

④各自弁当・飲み物等は持参すること。

7. その他(留意事項等)

①懐中電灯は1人1つずつ準備する。

②ツアー体験作文募集を予定(募集要綱は当日配布)。

8. 事務局

西原町役場文化広報課(☎946-9846)

なお 詳しいことは、事務局にお問い合わせ下さい。

お知らせ
で
一
び
る

案内・募集

7月

戦没者の遺族関係者へ

特別弔慰金の請求はお済みですか。

戦没者の遺族に対する特別弔慰金(1年間で4万円、10年で40万円)の請求期限は平成10年3月31日です。継続でまだ請求してない方や、新規(平成7年3月31日以前に恩給法の公務扶助料、援護法の遺族年金等を受けていた方が亡くなった遺族関係者)の方は、早めに手続きをして下さい。

※すでに手続きが終わって国債を受けた方、手続きは終わったが国債をまだ受け取っていない方は不要です。

問い合わせ

福祉課 ☎945-5311(内線121)

保育所(園)入所受付について

西原町役場福祉課では、保育所(園)入所の児童の受付を随時行っています。保育所入所(園)を希望される保護者は福祉課で申請して下さい。

保育所(園)は、その児童の保護者が、就労、出産、疾病及び病人の看護等の為保育ができない場合に保護者に代わって、お子さんを預かり保育することを目的とする児童福祉施設です。したがってどの家庭の子供も無条件に入所できるものではありません。随時受付分については現に入所している児童が退所した場合に、入所基準に該当するものの中から入所できるよう待機児童とします。

★詳しくは、町役場福祉課保育所係へお問い合わせ下さい。

☎945-5311(内線123)

【西原町役場】

総務課	☎945-5011
選挙管理委員会	〃
文化広報課	☎946-9846
福祉課	☎945-5311
町民課	☎945-5012
出納室	☎945-5193
税務課	☎945-4729
国民健康保健課	☎945-4791
保健衛生課	☎945-5013
企画財政課	☎945-4533
議会事務局	☎945-5005
土木課	☎945-4415
都市計画課	☎945-4496
区画整理課	☎945-9050
産業課	☎945-4540
農業委員会	☎945-5281
水道課	☎945-4934

【西原町教育委員会】

教育総務課	☎945-3655
生涯学習課	〃
学校教育課	〃
教育相談課	☎945-3656
町民体育館	☎945-9005
町民陸上競技場	☎944-1146
町中央公民館	☎945-3657
	☎945-9208
学校給食共同調理場	☎945-4935
西原児童館	☎945-4393
西原東児童館	☎944-0976

広報係から

七月といえは、「町花・ブルーゲ

交通遺児奨学生 の募集について

財団法人交通遺児育成会では、保護者等が自動車事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のため働けず、経済的に就学が困難な生徒・学生に奨学金を貸与しています。

※詳しくは、
財団法人 交通遺児育成会
☎ 03-3581-2271

消防設備士試験

試験日時：平成9年八月二十四日(日)

試験種類：甲種(第一類～第五類)

試験会場：乙種(第一類～第七類)

願書受付期間：平成9年七月十四日

(月)～七月十八日(金)

願書配置先：消防試験研究センター、

各消防本部、宮古、八重山

支庁振興総務課

受付方法：試験センターへ郵送又は直

接窓口へ持参

受付場所及びお問い合わせ：(財)消防

試験研究センター 沖縄県支

部 那覇市旭町一四番地

自治会館五階 ☎〇九八

八六七五三三三

八六七五三三三

ふた
下水道マンホール蓋のデザイン募集

毎日の暮らしから生じる様々な生活排水、これはしっかりした処理ルートを完備していなければ、沖縄の美しい海やキレイな川を汚す原因になっています。下水道施設はこのような汚水を専用の処理場でキレイな水に変え、川や海へ放流します。環境の保全、衛生面の向上、そして快適な日々の生活が送れるように、下水道施設は地域のため、地球のために活躍しています。

西原町においては、早い時期に下水道施設が使えるよう、今年から下水管きよの整備工事を始めます。

そこで、西原町の『下水道の顔』となるマンホール蓋のデザインを広く募集します。ふるってご応募ください。

【応募資格】

年齢、性別を問いません。どなたでもご応募できます。グループによる応募も可能です。

【応募方法】

所定の用紙（都計課にあります）又はB4サイズの用紙に直径20cm内に入るデザインを描き、その題材の説明及び住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、郵送又は直接西原町役場都市計画課まで持参してください。

なお、応募点数に制限はありませんが、用紙1枚につき、1点としてください。

【デザイン条件】

1. 西原町の町章を入れるか、西原町（にしはら、NISHIHARA）の文字をいれる。
2. 汚水（おすい）の文字を必ず入れる。
3. 西原町的な独創性のあるものとする。

【募集期間】

平成9年7月1日から7月31日まで（当日消印有効）

【入賞作の決定】

選考会において決定する。

【賞】

最優秀賞（1点）……………賞状、記念品

優 秀 賞（2点）……………賞状、記念品

【そ の 他】

○応募作品は、一切返却しない。

○なお、応募作品のうち最優秀賞として採用されたデザインの著作権は、西原町に帰属する。

○下水道マンホール蓋についての資料は、都市計画課にあります。必要な方は、お問い合わせ下さい。

【応募先、問い合わせは】

〒903-01 西原町字嘉手苅112番地

西原町役場 都市計画課 ☎098-945-4496（内線 311）

浦添市



勝連町



合津若松市



下水道マンホール蓋の例

西原町の選挙管理委員（任期 平成6年3月31日～平成10年3月29日）

職 名	氏 名	住所及び電話番号	備 考
委員 長	呉屋 實	西原町字嘉手苅81番地の4	H9.4.1異動
委員 長 職務代理	平良栄一	西原町字我謝58番地	H9.5.21異動
委 員	糸数雄介	西原町字小波津625番地の10	
委 員	玉寄美代	西原町字小波津36番地	



△本町の選挙管理委員のみなさん。

平成9年度巡回就学・教育相談のお知らせ

- ① 7月25日(金)
浦添市ハーモニーホール
安波茶123 ☎874-5711
- ② 8月28日(木)
与那原町社会福祉センター
上与那原16 ☎945-3016
- お問い合わせ
沖縄県立教育センター特殊教育課巡回相談担当
松崎 ☎098-933-7555(内501)

検 察 審 査 会 の 話

検察審査会制度は、来る平成10年に発足50周年を迎えます。

検察審査会とは、選挙権を有する国民の中から選ばれた11人の検察審査員が、いわば国民を代表して、検察官が被疑者を裁判にかけなかったこと（これを「不起訴処分」といいます。）の善しあしを審査するところで、刑事手続の中に国民の常識的な意見を反映させ、より良い刑事司法の実現を目的として設けられています。

検察審査会は、全国の主な裁判所の中にあり、申立てには、費用は一切掛かりません。また、申立人の秘密は固く守られます。

詳しくは最寄りの検察審査会にお問い合わせください。

【西原町の人権擁護委員】

職名	氏 名	住 所 及 び 電 話 番 号
委員	下地郁子	西原町字呉屋94番地の2 ☎098-945-1349
委員	外間政弘	西原町字嘉手苅86番地の2 ☎098-945-0919
委員	新垣佳宏	西原町字与那城265番地の2 ☎098-945-2774
係長	呉屋敏浩	西原町字我謝41番地 ☎098-945-9674

【那覇地方法務局（人権擁護課）】

- 所 在 地 沖縄県那覇市樋川1丁目15番15号
- 電話番号 098-854-7950 FAX 835-4038

平成9年度巡回就学・教育相談のお知らせ（7/25(金) 浦添市ハーモニーホール ☎874-5711）
沖縄県立教育センター特殊教育課 巡回相談担当・松崎 ☎933-7555(内501)（8/28(木) 与那原町社会福祉センター ☎945-3016）

町民
体育館毎月
第1
日曜日開放の
お知らせ!!

いい汗 流してみませんか!!

私たちは生涯、健康で活力ある生活をおくるためには日頃から健康の維持・体力増進を図る必要があります。そこで、日頃の運動不足を解消する為に西原町民体育館を毎月第1日曜日(西原町民対象)に開放します。
ファミリーで、友達どうしで、カップルでエンジョイしましょう!!

開放時間(毎月第1日曜日) … 1回目 10:00~12:00
2回目 13:00~14:45
3回目 15:00~17:00

種 目……………バドミントン
インディアカ
ソフトバレーボール
バスケットボール半面(3ON3)

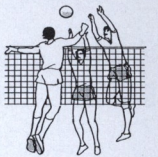
※利用者の人数により種目やコート割りふりの変更があります。

※注 意……………体育館使用に関しては管理人の指示に従う事。

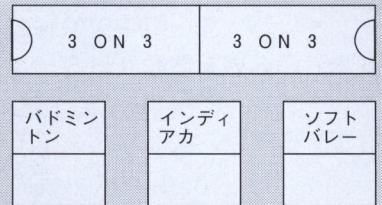
・予約による使用はできません。

・西原町民を対象にしています。

問い合わせ 西原町民体育館 ☎945-8095

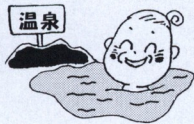


町民体育館使用例



国民年金は口座振替でネ

日本の総人口に占める六十五歳以上の方々の割合は年々高くなり、今年は十五%を超えています。高齢化社会から高齢社会へと日本も脱皮したわけです。あと二十年後の超高齢化社会では、四人に一人が高齢者となることは確実です。



高齢社会では高齢者の割合が高くなるだけでなく、六十五歳になつてからの平均余命も長くなっています。最新の日本の平均余命は女性八十二・六歳、男性七十六・四歳となり世界一ですが、六十五歳になった方の平均余命はそれよりももっと長く、女性二十一年、男性十七年です。つまり六十五歳を迎えることができた方は、女性は八十六歳まで、男性は八十二歳まで生きることになります。



国民年金などの公的年金の特徴は、老後生活の基礎的経費など一定の水準の年金額を生涯にわたり受給できることです。しかも、公的年金は長い受給期間中も年金額の実質的価値が落ちないよう、物価上昇があれば自動的に額が引き上げられます。このために個人では難しいインフレなどの経済的変動への

お問い合わせは

町役場国民健康保険課
国民年金係
☎九四五-四七九一
(内線 一五三)



高齢社会で真価を発揮する国民年金

第47回
“社会を明るく
する運動”
について

本年も7月1日から社会を明るくする運動が行われます。

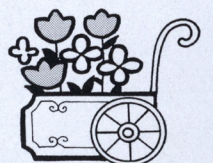
この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動であり、全国的な運動です。本県でも大田昌秀沖縄県知事が県実施委員会の委員長となり、様々な活動が行われます。

本町でも各地で行事が行われますので市民(住民)皆様も活動に参加をお願いします。

※問い合わせ先

那覇保護観察所

☎853-2945



対応が可能です。さらに五年に一度の財政再計算という仕組みによって、高齢化が進んでも、年金制度が安定的に運営できるように長期的に国全体で管理しているのです。



このような仕組みをとっているのは公的年金だけでなく、核家族化が進み、高齢世代が増えている今の世の中で、公的年金の役割はますます増大していくでしょう。公的年金制度を守るために、未加入者や未納者の解消など、国民全体で取り組まなければならない課題があることも知っておかなければなりません。

7月(JUL.) 行事・祭事予定表

- 2日(水) ○住民健診(16歳以上で、学校・職場で健診をうけていない町民、各字公民館、4日、7日、11日、14日、27日)
○BCG(ツ反陰性者、13:45~14:30、町中央公民館)
- 5日(土) ○移動児童館③(14:00~16:00、県営西原団地自治会事務所)
- 9日(水) ○ベビースクール1(3カ月~5カ月児(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
- 10日(木) ○3歳児健診(H6. 3. 13~H6. 4. 10生まれ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
- 15日(火) ○ベビースクール2(3カ月~5カ月児(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
- 19日(土) ○平和特別企画展(町中央公民館ホール、~24日)
○移動児童館④(14:00~16:00、池田公民館)
- 23日(水) ○移動児童館⑤(14:00~16:00、棚原公民館)
- 24日(木) ○第10回西原町親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー
- 28日(月) ○移動児童館⑥(14:00~16:00、幸地公民館)
- 31日(木) ○1歳半健診(H7. 12. 20~H8. 1. 17生まれ、13:30~14:15、町中央公民館)

8月(AUG.) 行事・祭事予定表

- 1日(金) ○母親学級1(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)
- 7日(木) ○第10回町平和交流事業《ジュニア・ピース・メッセンジャー'97》(長崎県、~10日)
- 8日(金) ○母親学級2(初妊婦、13:30、町中央公民館)
- 10日(日) ○乳児一般健診(H9. 2. 19~H9. 5. 10生まれ、H8. 9. 19~H8. 12. 10生まれ、9:00~10:15、13:00~14:15、町社会福祉センター)
- 13日(水) ○母親学級3(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)
- 14日(木) ○3歳児健診(H6. 4. 11~H6. 5. 14生まれ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
- 21日(木) ○1歳半健診(H8. 1. 18~H8. 2. 10生まれ、13:30~14:15、町中央公民館)
- 22日(金) ○第4回西原カップ九州高等学校バレーボール大会'97(女子)開会式・歓迎交流会(17:00、町民体育館)

できることから…ボランティア。
**要約筆記ボランティア
を募集しています。**

—平成9年度社会人福祉講座 要約筆記ボランティア講座を開催—

目的: 聴覚障害の方々と文字を通してコミュニケーションをとる要約筆記ボランティアの育成と、聴覚障害の方々への理解を深め、社会参加への促進を図る。

主催: 西原町社会福祉協議会
協力: 沖縄県身体障害者福祉協議会、沖縄県難聴・中途失聴者協会

募集期間: 平成9年7月1日(火)~7月11日(金)

定員: 30名

講座開催期間: 平成9年7月24日(木)~9月11日(木)
午後7時から9時全7回

講座開催場所: 町社会福祉センター研修室

対象者: 関心のある方ならどなたでも。

受講料: 無料(但し、テキスト代として1,000円の負担がかかります)

※問い合わせ等は、西原町社会福祉協議会ボランティア・コーディネーター小波津

☎945-3651、FAX946-6777まで。

**「扇風機は使用前に
必ず自己点検を」**

そろそろ扇風機が活躍する季節。安全に使うため、**十分な点検を行いましょ**う。羽根の回転や、モーター部の熱、ニオイ、音などに異常があったら、次のチェックを。プラグが抜けていないか、タイマーつまみが「切」になっていないか、ガードが変形していないか、ガードや羽根の取り付けがゆるんでいるか、など。それでも異常があれば、**発煙・発火の恐れ**がありますので、**すぐにプラグを抜いて使用を中止**してください。再使用の際には**必ず販売店等にご相談**ください。

電話の加入権の公売

町税徴収と滞納町税の円滑な解消のため、差し押さえ中の電話加入権の公売を実施します。

公売実施日

平成9年7月30日(水)

※受付14:00~14:30

西原町役場2階 第二会議室

※印鑑(認印)を持参して下さい。

詳しいことは、西原町役場税務課へ

☎ 945-4729 (内線 144)

▽西原町まちづくり町民の会(新垣常夫会長)が、一般寄付として町人材育成会へ十万円。

▽西原町給水工事指定店(名嘉治夫会長)が、一般寄付として町人材育成会へ二十万円。

▽宇与那城三百十八番地の一崎原ビル、テクノバードジャパン(株)(根間盛幸代表取締役)が、一般寄付として町社会福祉協議会へ十五万円、社協内はばたき共同作業所へ五万円。

▽宇我謝四百五十二番地、平良正一さんが、社協内はばたき共同作業所へ五万円。

▽宇津花波十九番地、長嶺由光さんが、故長男由基さんの香典返しとして町社会福祉協議会へ十万円、社協内はばたき共同作業所へ三万円。



寄付・香典返し
(ありがとうございました)

わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう。(町民憲章)